

八幡平観光新聞

令和2年6月



6/10
八幡平DMO
発行人:文責
鳥海良信

Withコロナの観光を考える・・・

現在の状況は？

6月からは、首都圏と北海道を除くエリアへの移動が緩和され、7月10日には県を跨ぐ観光も容認されます。現在の八幡平は、観光客の殆どはマイカー、県内ナンバーに少し隣県が混じる状況です。今後は夏々秋に向け、遠隔地から、新幹線や飛行機を使っての来訪も期待したいところですが、不安も残ります。

■安全・安心の課題

岩手県迄来ていたたければ、第1波で感染者ゼロであった実績を基に、着地側で万全を期しお迎えできるのですが、ここ迄のアクセス、新幹線/飛行機が課題になります。

(1)ゲストの心理

輸送側では感染拡大の予防のために、フェイスマスクを着用して安全・安心を発信する様ですが、この物々しさが出控えにもつながっていきそうです。

(2)コストの問題

東北の観光は、発地からの距離が長い為、移動コストを如何に抑えられるか？がポイントです。今後は3密を避けた座席とりが予想されますので、これ迄の様な格安チケットは出にくくなると思われまます。



フェイスシールドをつけての空港での安全・安心の表現

■旅行者の好みの変化

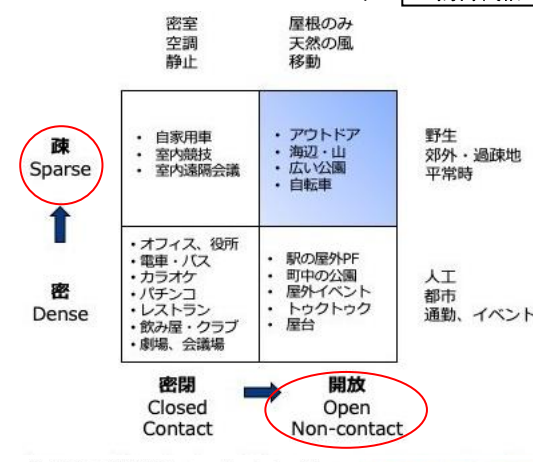
	ビフォー・コロナ	アフター・コロナ
目的地	人気観光地や賑わっているアトラクション、都会	ソーシャルディスタンスを保てるよう、収容人数などへの配慮がある場所 新鮮な空気を楽しめる屋外山や海辺の観光地
空港、航空会社	Wi-Fiの有無、低運賃	衛生であること トランジットの少ないフライト
宿泊施設	低価格	衛生、安全

Source: Tourism and Creative Economy Ministry

■異常事態はいつまで

専門家によりますとこの様なゲスト側の不安の解消・旅客側の正常化には、ワクチンや特效薬の開発が必須とお話で、概ね1年半~2年位はかかる見通しの様です。

海外からの動きについては、出入国の手続きや、発地・着地のメニューの問題もあるのと、もう少し後になると思われまます。



■新しい観光の在り方

コロナウイルスの感染拡大で日本の観光は特定のターゲットに依存するのではなく、季節特性や強み弱みを踏まえて複数のターゲットを対象に商品を開発し、リスクを分散する必要があります。これは、3密回避は不可避であり、その影響を受けたツアー系の動きは鈍ります。

■開陳化に合わせて

我々八幡平の観光もそれぞれの立地・商品性・館の特性を踏まえて、パートナーである旅行会社やOTAともこの様な視点で協議しながら、或いはパートナーをチェンジしながら、Withコロナの在り方・売り方を、考えるタイミングなのかも知れません。

- 八幡平市観光協議会
5月27日、市役所大ホールにて令和2年度最初の観光協議会が開催されました。
- 今回の議題は、(1)東北DCの経過報告 (2)スノーリゾート計画の2大テーマに加え、(3)新型コロナウイルスの新型対応と感染拡大予防の対策
- が加わり、市長からは方向性の提示、商工観光課・事務局からは具体的な進捗状況が説明されました。

(1)東北DCの経過報告
4月3日を期限に提出いただいた観光素材は500件を超え、無事登録が完了。また、今後制作された素材は、八幡平独自に展開する

(2)スノーリゾート計画
6月1日の提出を前に、皆さんご説明・ご確認いただきました。今回の補助は1/2で、開示が年明けであった為、2020年度

(3)コロナ関連について
商工会さんからは、コロナウイルス感染の影響対応についての説明があり、個々の申請手続きについては、遠慮なく相談するようお願いがありました。

※笑顔の写真を！
東北DCは市場へのアピール・チャンス！個人向けの商品ではその景色や体験を楽しむ笑顔の写真が有効とお話がありました。来年へ向けての写真の準備もお願いします。

■500mmの望遠鏡
昨年9月号で紹介した安比高原のペンションアリスの近藤オーナーは、望遠鏡を使わない星空案内をされていましたが、こちらは天文台、巨大な望遠鏡での宇宙観望です。

■今年8月の見どころは：
8月になると、木星・土星が開館時間に見頃となります。木星の模様や土星の環など、

天文台は4月10日の金・土曜日の18時22時の営業でグループでの利用の場合は特別営業もありますのでご連絡下さい。国際交流村0195-761-2013

■人気のドラゴン・アイ
コロナ関連の移動規制も徐々に緩和され、天候に恵まれた6月の6&7日の週末には、待つてました！とばかりにマイカーが動きだしました。

「八幡平にこれだけ人が居るのを見たことがありません。駐車場に入りきれない車の列が黒谷地の近くまで並んでいました。ドラゴンアイの撮影スポットは「密」な状態・・・」と投稿されたのは、ドラゴン・アイの観察日記をつける地元のカイドさん。いよいよ八幡平の観光も再起動です。

(1)八幡沼から源太森
ドラゴン・アイ迄出かけたのなら、メインの八幡沼・源太森迄足を延ばして欲しい！春の高山植物も咲き出すこの時期は晴天率も高く八幡沼・周辺の池塘に映る空も綺麗です。



2020年6月7日
ドラゴン・アイが開眼しました！

■ドラゴン・アイ+R
6月は最高の季節なのに宿泊が少ない！ここ2、3年、ドラゴンアイ効果もあり、6月の入込みは増えていますが、宿泊の伸びは追い付いていません。来年の東北DCを機に改革しようとしてまいります。今回は、八幡平自然散策ガイドの会さんもお薦めを伺ってました。

(2)松川渓谷周辺の散策
松川温泉や温泉郷に宿をとるなら松川渓谷、柱状節理は紅葉でも名所ですが、新緑も鮮やかで美しい！川辺にオオルリ・キビタキ・クログミの囀りが響き渡るのもこの時期ならではの楽しみですね。

特集：地域の誇りを体験してもらおう...
「ドラゴン・アイ」「ペンション」... ガイドさんのお薦め

